

令和4年度 多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

日時：令和4年6月7日(火)～8日(水)

参加者：地域国際化協会、自治体より 11名

統括ファシリテーター：堀 永乃 (地域国際化推進アドバイザー)

研修の概要：

「働く外国人から選ばれるまちづくり」

就労する外国人が増加している現状を踏まえて、今後の施策立案のベースや参考となる知見を得ることを目的に、外国人集住都市であり、近年は多国籍化も進む浜松市を中心として開催しました。現在実施されている先進的な取組みを概観し、働く外国人との共生の現場や、働くための支援等の取組みを学ぶとともに、具体的な施策立案に向けたワークショップ等を行いました。



テーマ：「働く外国人から選ばれるまちづくり」

日時：
2022年
6月7日(火) 13:00～
8日(水) 16:00

会場：浜松市近辺

対象：地域国際化協会、
市区町村国際交流協会、
自治体の職員



↑ 詳細・申請：<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/taiken.html>

就労する外国人が増加している現状を踏まえて、外国人集住都市であり、近年は多国籍化も進む浜松市を中心として開催します。先進的な取組みを概観し、働く外国人との共生の現場や、働くための支援等の取組みを知ることで、今後の施策立案のベースや参考となる知見を得ることを目的とします。

定員：20名程度
(先着順・申込み多数の場合各団体1名まで)

費用：無料
(貸切バスを除く交通費、宿泊費(各自手配)、
食費は各自負担をお願いします)

募集期間：2022年5月9日(月)～23日(月)

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

プログラム

1日目：6月7日(火)

■オリエンテーション講義

浜松市役所より派遣されているクリア職員より、浜松市についての説明講義の後、総括ファシリテーター堀様より2日間の研修のポイント等についての講義をいただきました。

■特別養護老人ホーム燦光 へ訪問

特別養護老人ホーム燦光にて、外国籍のスタッフ(EPA・技能実習生等)の受け入れ体制等について説明をいただいた後、外国籍のスタッフの方から職場の働きやすさや今後の目標などお話しいただき、質疑応答にも対応いただきました。

■情報交換会



←
アクティビティ
浜松にて、
紹介講義や
オリエンテー
ション講義を
行いました。



特別養護老人燦光の会議室にて現在の取り組みについての講義をいただきました。↑

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告（概要）

プログラム

2日目：6月8日（水）

■ 静岡ダイハツ株式会社へ訪問

静岡ダイハツ株式会社が導入したAIを活用した自動車整備システム等の説明やデモンストレーションの中で、外国籍のスタッフだけではなく、職員全員に向けた効率改善等の取り組みについてお聞きしました。



静岡ダイハツ株式会社にて自動車整備システムのデモ

■ 株式会社ソミックマネジメントホールディングスへ訪問

高度人材の受け入れの体制整備、国際交流協会と連携した企業内講座開催の取り組みなどについて話を聞きました。



ソミックマネジメントホールディングスにての講義の様子

■ 浜松市内散策+昼休憩

浜松市の多文化共生の歴史的がわかる地域や建物などを堀様に紹介いただきながら浜松「グローバルストリート」を散策し、ブラジル料理店で昼食を楽しみました。

■ ワークショップ

訪問先の視察や講義で学んだことについてグループで振り返り、具体的な施策立案に向けたグループワークを行いました。



ワークショップで、グループワークの様子

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告（概要）

参加者の声

「体験塾」全般について

- ・企業の方たちが「いつか母国で日本の技術や働き方を広めていただければ」と言うのに対し、実際に働いている外国人スタッフの方たちが皆「ずっと日本で暮らしたい」と答えたのがとても印象的でした。「外国人にえらばれるまち」になるように頑張ります！
- ・浜松市での先進事例を、自分の地域ではどう活かせるのか、どう取り入れていけるのかをまずは考えていきたいです。

オリエンテーション講義について

浜松市についての説明

- ・浜松市の多文化共生先進事例がお伺いでき、勉強させていただきました。
- ・行政発信の取組みが充実しており、取組みが知れてよかった。

オリエンテーション講義

- ・取組の背景や最新の考え方、企画立案・推進の体制や進め方など現場の課題に追われがちな行政職員に必要な視点をたくさんお話いただき、貴重な講義だったと思います。

特別養護老人ホーム燦光への視察について

- ・多様な在留資格の外国人受入、行政に頼らない取組、無駄な規則の排除（合理性）、福祉分野特有の切迫感や作業感を感じさせない雰囲気作りなど、先進的な取組の現場として貴重な視察となりました。
- ・燦光の職員の方々には、外国人職員のために「〇〇しなければならない」ではなく、「〇〇ならできる」「〇〇もしてみたらどうだろう」といったことができることからやっていくという前向きな姿勢があったように感じられました。民間が現場でそういった取組をしている中で、官側はどういったことができるのか、していかなければならないのか考える一助となりました。

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

参加者の声

静岡ダイハツ株式会社への視察について

- ・AIシステムの導入は外国人のためだけでなくヒューマンエラーを防止するためにとっても有意義なことだと思いました。我が町のダイハツでもこのシステムが導入されているのか、一度見に行ってみたいです。
- ・整備士の人材不足の現状や現場からの声を聞き、その現状をしっかりと捉え次の取組を考える姿勢が、音声入力システムや、お会いしたベトナム人整備士の「ずっと日本で働きたい」という言葉に繋がるのだと思いました。ダイハツのようなシステムを作ることは難しくても、現場の声を聞くという点においては、すぐに取り入れていきたいです。

株式会社ソミックマネジメントホールディングスへの視察について

- ・企業内日本語教室や人財育成のための研修制度、社員同士の交流会など、外国人だけではなく、全ての従業員を大切にしている企業であり、それが国境のない職場に繋がっているのだと感じました。
- ・高度人材の受入、国際交流協会と連携した企業内講座開催の取組などの取組が参考となった。

ワークショップについて

- ・研修生それぞれの視点で視察の振り返りが出来て有意義でした。堀先生のアドバイスも大変参考になりました。
- ・自分とは全く違う視点から物事を見ていて、新たな気付きがありました。時間が短かったけど、とても楽しかったです。
- ・視察を通しての学びなどをグループで共有でき、また自分の地域への活かし方を落とし込んで考えることができました。